

日本産業看護学会 第10回学術集会プログラム

学術集会長講演

11月6日（土）11：40-12：40

テーマ：日本の元気を支える産業看護の力～すべての働く人々・組織に産業看護サービスを～

演者：新谷奈苗（和洋女子大学 看護学部教授）

基調講演

11月6日（土）12：40-13：30

テーマ：（仮）超高齢社会の中で働く人々を支えるために

演者：岸田宏司（和洋女子大学 学長）

第10回学術集会記念講演

11月6日（土）13：30-14：30

テーマ：（仮）日本の元気を支える産業看護の未来～日本産業看護学会10周年を迎えて～

演者：河野啓子（日本産業看護学会 理事長）

特別講演1

11月6日（土）14：30-15：30

テーマ：（仮）高齢社会に対応する産業看護職への期待

演者：新谷正義（総務副大臣 衆議院議員）

特別講演2

11月6日（土）14：30-15：30

テーマ：（仮）看護倫理を考える～産業看護の発展のために～

演者：小西恵美子（鹿児島大学 医歯学域学系客員研究員）

教育講演1

11月6日（土）15：30-16：30

テーマ：働く現場での自閉スペクトラム特性への理解と対応

演者：上原徹（高崎健康福祉大学 教授）

教育講演2

11月6日（土）15：30-16：30

テーマ：（仮）ハラスメント対策における産業看護職の役割

演者：西園寺直之（伝馬町法律事務所 弁護士）

教育講演 3

11月7日（日）9:00-10:00

テーマ：（仮） これからの産業看護実践を支える産業看護診断の有効性

演 著者：伊藤美千代（日本産業看護学会産業看護学体系化検討委員会 委員長）

教育講演 4

11月7日（日）9:00-10:00

テーマ：（仮） 産業看護活動のためのビジネスマナー

演 著者：未定

教育講演 5

11月7日（日）10:00-11:00

テーマ：（仮） 人生100年時代 働く女性のヘルスケア～女性がイキイキと働くために～

演 著者：宋美玄（丸の内の森レディースクリニック 院長）

メインシンポジウム

11月7日（日）15:00-17:00

テーマ：日本の元気を支える産業看護の力～ニューノーマルな社会の実現に向けて～

主 旨：

働き方改革、COVID-19への対応からニューノーマルへの移行へと、労働者にとっての労働・職場環境は大きく変化してきている社会において、産業看護職が日本の元気を支えるために、産業看護の力をさらに発揮するためにどう対応すべきかなど、社会や経済界の動向を踏まえて考えたいと思います。シンポジストとして、政治家、経営者、産業看護職の3名の方々にご登壇いただきます。

シンポジウム 1

11月6日（土）16:30-18:30

テーマ：労働者の雇用と健康を守る～企業が求める産業看護職の役割～

主 旨：

産業看護職にとって、人事労務担当者や安全衛生担当者との協働は不可欠であり、その協働のためには、互いの理解が必要です。ここでは、企業や人事・労務担当者が産業看護職に求めていることは何か、それに対して産業看護職はどのように対応すべきかなどを考えたいと思います。シンポジストとして、大規模事業場および中小規模事業場の人事・労務担当者、小規模事業場を支援している産業看護職の3名の方にご登壇いただきます。

シンポジウム 2

11月7日（日）13:00-15:00

テーマ：多様な組織における元気を支える産業看護活動

主旨：

産業看護職は、主に一般企業の労働者や組織に対してサービスを提供している現状があります。しかしながら、行政、学校、病院等で働く人々も産業看護の対象です。そのような現場での産業看護活動は、一般企業に比べて活発とはいえない状況です。本シンポジウムではすべての産業に関わる看護職に着目し、産業看護のあり方を共有し考える機会としたいと思います。シンポジストとして、行政、学校、病院で働く人々の健康支援を行っている3名の産業看護職にご登壇いただきます。

シンポジウム 3

11月7日（日）13:00-15:00

テーマ：多様な働き方に産業看護の力を発揮するためには

主旨：

近年、終身雇用を前提とした日本型雇用が大きく揺らぎ、正社員の中でも働き方が多様化しています。また、女性や外国人労働者は、まだ圧倒的に非正規雇用扱いであることが多く、産業看護サービスはどこまで行き届いているかよくわからない状況です。加えて、2021年の障がい者雇用促進法改正に伴い、法定雇用率がさらに引き上げられました。そこで、政策法制度委員会メンバーである産業医、雇用と就業の多様化研究会メンバーである研究者、一般企業の人事部門担当者の3名の方々にご登壇いただき、非正規雇用労働者や障がいを抱えた労働者の現状と課題を浮き彫りにし、今後のこれらの人々への産業看護のあり方について考えたいと思います。

がん看護学会とのコラボ企画

11月6日（土）16:30-18:30

テーマ：真の「治療と仕事の両立」を考える～労働者は何を看護職に求めているのか～

主旨：

高齢労働者の増加に伴い、がんに罹患しながらも就労を続ける労働者が増加している中で、厚生労働省は、2016年に『事業場における治療と職業生活の両立支援ためのガイドライン』を公表しました。多くの企業で、環境整備や制度の導入などに取り組まれていることと思いますが、まだ多くの課題を抱えています。そのような中で、がん治療に関わる看護職と就労を支える看護職の協働により、より質の高い看護サービスが提供できると考えます。そこで、日本がん看護学会の協賛を得て、特別シンポジウムを企画しました。シンポジストとして、がんサバイバー、がん認定看護師、産業看護職の3名の方々にご登壇いただき、あらためて、両立支援のあり方について考えたいと思います。

トークセッション

11月7日（日）10:00-11:30

テーマ：企業が産業看護職に期待すること

主旨：

産業看護の対象である企業組織は、我々産業看護職に何を求めているでしょうか。2社の一般企業の労務・安全衛生担当者より講話いただき、自身の看護活動を振り返り、さらなる質の高い産業看護を提供できるよう日々の活動に活かす機会としたいと思います。

ランチョンセミナー

11月7日（日）11:00-12:00

複数の企業様より協賛いただき開催を予定しています。企業およびテーマが決まりしだいご案内いたします。なお、感染対策のため、通常のランチョンセミナーと異なり、午前中にセミナーを聴講いただき、昼食は、所定の時間および場所でとっていただきます。

オンラインセミナー

会期前：10月23日（土）～11月5日（金）

会期後もオンデマンド配信予定

複数の企業様より協賛いただき開催を予定しています。テーマが決まりしだいご案内いたします。オンラインセミナーは、本学術集会の会期前および会期後に閲覧可能として、会期前に閲覧された参加者の中から先着順に、11月7日のランチチケットを配布いたします。

（事前登録（8月31日（火）締切）者限定となりますのでご注意ください）

一般演題（口演・示説発表）

11月7日（日）9:00-11:00

口演発表は、研究発表を20演題と活動報告を20演題、示説発表は8演題の登録募集を行います。学会発表の経験がない方も、また、研究に至らなくても活動報告ということで、この機会に、日々精力的に行っているご自身の産業看護活動について、ご発表いただきますようお願いします。

サイエンスカフェ

11月7日（日）10:00-12:00

テーマ：現役看護職が語る My History ～産業看護職の魅力ってこれだ！～

対象：

主に、高校生、大学生、臨床看護師の皆様となります。現役の産業看護職より、経験を語っていただき、産業看護職として活躍いただくための情報提供をいたします。